

町田市議会議員・情報公開の街

吉田つとむ

交通文化都市・4 期連続トップ当選



左上 blog
右上 HP
下左 Mail



インターン体験記④森田瑛斗

有名な心臓外科医の南淵明宏先生を訪ねる

この日は心臓外科医の南淵明宏先生にお会いする機会を頂きました。南淵先生は昭和大学横浜市北部病院循環器センター教授を務められており、冠動脈バイパス手術などの高難度の手術を数多く執刀される日本屈指の心臓外科医です。

先生にどのような人がよい外科医になるのか伺ったところ、「何者でも可能性はあるし予想はできない、自分自身がそうだったから」と謙虚におっしゃっていました。その流れで、先生の若手育成についても興味深い話を伺いました。まず手術が出来るかどうかを自分で判断し決める、そしてそれを実際に一人でやり遂げる、この二つの段階をクリア出来る医師が成長していくということでした。責任を持つ覚悟と責任を全うする実力が必要なのだと感じます。お話の中で特に印象的だったのは、皮膚にメスを入れることを「地獄の門を開ける」と表現されていたことです。リスクを背負い地獄の中に飛び込んでいく経験を繰り返すことで腕を磨かれてきたのだと思います。

今回の南淵先生との面談を通じ医師として責任を持つことの難しさを感じました。自分ではコントロールできない要素も多く、多くの人が関わる医療現場では、言い訳を探そうと思えばいくらでもあり、納得感を出すことも簡単だと感じます。しかし、あおりを受けるのは常に患者さんです。先生はそうした中でも患者と真に向き合い、責任を果たされてこられたのだと思います。先生の医師として取り組む姿勢をうかがい身の引き締まる思いになりました。



東京大学医学部新卒 森田 瑛斗（第 55 期生）

◎ インターンシップは、本会議や委員会の会議を身近に傍聴したり、行政機関の仕事・施設を訪ね、見学・インタビューできる日程を組んでいます。また、民間企業の経営者の方や過去のインターン体験者の話を聞ける機会も設定しています。

第 55 期生の森田瑛斗さんは、医師国家試験に合格し、4 月 1 日より三次緊急医療機関で研修医

インターン体験記⑤-1 森田瑛斗

町田市保健所の役割の説明と業務見学

町田市本庁舎で保健所の役割について説明をしていただいた後、保健所と町田市健康福祉会館を見学させていただきました。町田市の保健所は都内唯一の「政令市保健所」で母子保健やがん検診などの市の保健所の業務に加え、感染症対策や精神保健といった元々東京都が担っていた業務も 2011 年より運営しています。市の単位で業務を行うことでそれぞれの市の特徴を生かした運営が出来るというメリットがあります。町田市では地区ごとに年齢の分布などの違いがあるそうです。また、保健所の業務も民間の医療機関に委託するといったケースも増えているようです。以前は保健所で検査などを実施することも多かったそうですが、時代の変遷とともに保健所の役割も変わってきているのを感じます。



国や都の方針はどのように反映していくのか伺ったところ、推進されている政策を実行することで補助金が出るようになっており、予算という形で動機付けがなされているとのことでした。母子保健ではデジタル化の活用も進んでおり、LINE を用いて予約なども出来るようになっていきます。利用者にとって利便性が向上する一方、問診表はスクロールをしないと全部見ることが出来ないため、医師にとっては紙の方が一目で分かりやすいという側面もあるそうです。そういったデメリットもありますが、高齢者でも LINE を利用する人が増えており、デジタル化へ加速的に進んでいくタイミングに差し掛かってきているようにも感じます。

東京大学医学部新卒 森田瑛斗（現在研修医で勤務）

町田市議会
会派「無所属」

市長に追随することなく、当初予算に修正案提案

町田市議会
〒194-8520 東京都
町田市森野 2-2-22
(町田市庁舎 3F)
☎042-724-2171
「無所属」会派室



当初予算の問題点を明快指摘、修正案提案

「無所属会派」は、政党に所属することなく、無所属議員 3 名で構成し、石坂市長に一切のしがらみがない立場で発言・行動している議会内の独自グループです。

この間、町田市は工芸美術館建設を推進してきましたが、住民との対話を進めず、単に行政の計画や予定しか説明せず、住民の意見を取り上げる姿勢を見せてきませんでした。その結果が、契約不成立、今年は仮契約の破棄まで起きています。それでも、工芸美術館建設の方針を取りやめる意思は全くありません。そのため、無所属会派は、その建設費用を全額削除した修正案を提起しましたが、それに明快な反対論が提起されずに、賛成少数で退けられました。



また、学校統廃合の問題については、住民が請願で指摘する「町田市の学校統廃合のやり方は文部科学省の建設基準に外れ、結果的に国の補助が十分に受けられない」と言う財政運用の根幹にかかわる視点も取り入れ、学校統廃計画の費用額を削除した予算修正案を作成したものでした。なお、町田市の学校統廃合の計画は、単純に将来の人口予測推計を引き写したものとなっています。本来は、公立学校と私立学校の選択が今後どのように行われるかという観点の議論が重要であり、今後、公立校の通学者数はさらに減ると考えています。

◎町田市議会は定数 36 名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、会派「無所属」は自由に賛否を決める場合もあります。

◎住民請願は事務局に提出、相談して下さい。署名が必要なものは会派に連絡して下さい。

今年は国政調査：ネット回答が増加傾向

国勢調査は国が各区市町村に委託して行う事業

2025 年（令和 7 年）は 5 年ごとの国政調査の年に当たります。前回 2020 年（令和 2 年）の国勢調査において、町田市の世帯数 192,015 に対し、回答数 151,441 で、78.9%（小数点第 2 位以下四捨五入）とのことでした。もちろん、国勢調査の回答率は 100%が理想ですが、個人の自主申告に基づいて行われるものですから、この 78.9%の回答率というのは、思ったより大きく、決して少なくないとの判断をしています。

また、回答数の内訳ではインターネット 79,532 世帯（41.4%）郵送 71,909 世帯（37.4%）と言うものでした。すでに、令和 2 年の時点でインターネット回答の方が郵送より多くなっています。ちなみに、全国では、ネット回答 37.9%、郵送 41.9%となっており、郵送の割合が多く、町田市とは逆になっています。

5 年後にあたる令和 7 年の回答に関しては、もっとインターネット回答（特に、スマホ回答）の割合の増加が見込まれ、郵送の回答割合が減少するでしょう。ネット回答の割合が増えるほど、集計作業のコスト削減につながります。

国勢調査は国の各種統計の基本であり、国や地方自治体も施策づくりの基礎資料にするものです。国民、市民の生活向上に資することにつながる視点で、国政調査時には進んでご協力願いたいと思います。

町田市民病院からの市内展望



良識ある保守主義・情報公開の伝統

会派「無所属」

議員個人の自由な主張と立場を生かす

町田市議会議員
会派「無所属」に所属
吉田 つとむ
自宅 042-795-7361(TEL&FAX)
yoshidaben@gmail.com



インターン体験記②-1 森田瑛斗

東京大学医学部新卒(現在研修医) 森田瑛斗

本日は町田市の医療の中核を担う町田市民病院を訪問し、服部事務部長からお話を伺った後、病院内を見学させていただきました。



町田市民病院の大きな強みとしては周産期母子医療センターとして新生児集中治療管理室(NICU)を備え、ハイリスク妊娠に対する高度な医療を提供できる点が挙げられます。出産年齢の高齢化に伴い、リスクの高い出産も増えていることから、周産期母子医療センターの需要は高まっていると考えられますが、都内における分布に大きな差があるという現状を伺いました。特に区中央部ブロック(千代田・中央・港・文京・台東)では計 65 床あるのに対し、多摩ブロックでは計 63 床となっており、多摩地域の人口が区中央部ブロックの四倍あることを考慮すると大きな差があると言えます(東京都保健医療局ホームページ参照)。文京区、港区エリアに大学病院が集中しているというのが大きな要因と考えられますが、区中央部が多いというよりも、多摩地域に足りていないという見方の方が適切なのかもしれません。また、手術室にはダメージの少ない手術を可能にする内視鏡手術支援ロボットの da Vinci も導入されており、対象となる疾患も増えているとのことでした。ロボット手術は術後の回復も早く、精密な作業が可能なることから患者さんにとって非常に魅力的な選択肢になると感じます。一方で若手の外科医にとってはロボット以外で手術をする機会が少なくなることから、従来の外科技術を養うための経験を得るのが難しくなっていくのではないかとすることは憂慮されます。

インターン体験記③-3 森田瑛斗

ユーグレナの出雲充代表取締役社長を訪ね、本社で面談

ユーグレナはミドリムシを用いた食品や化粧品及びバイオ燃料の開発・製造を行っている企業で東証一部(プライム市場)にも上場しています。出雲社長は吉田議員のインターンシップの一期生であると同時に、私の中高大の先輩でもあり、非常に縁を感じております。当日もトレードマークの緑色のネクタイをつけられていたのが印象的でした。



お話の中で出雲社長は起業の魅力について熱弁されていました。どのような企業が成功するのか伺ったところ、スタート地点は様々あるものの、成功する起業に共通しているのは人のために活動しているという点だとおっしゃっていました。自分なりの解釈ではありますが、そういった視点があるからこそ社会的にニーズのあるモノやサービスを生み出すことが出来、価値のある企業になっていくのだと思います。ユーグレナもミドリムシを用いて栄養や燃料といった社会的ニーズの高いものに取り組んでいるからこそ高く評価されているのだと思います。

また最後に出雲社長に現在の目標を伺ったところ、①バングラデシュの子供の栄養失調を無くす事、②ミドリムシでバイオ燃料を作ることの二点を挙げられました。これを 5 年で成し遂げると力強くおっしゃっていたのが非常に印象的でした。



◎町田市議会の所属委員会や個別の会派では、それぞれに行政機関や他の議会を対象にした地方視察を行っています。上記の掲載する記事は、それらと異なり、独自に民間の展覧会や公的施設に直接申し込みを行い、現地見学したものも含んで掲載しています。

◎会派・個人で行った見学・インタビューも、議会の一般質問や質疑に活かしています。

町田市議会
会派「無所属」

政党に属しない無所属議員で構成する

町田市議会
〒194-8520 東京都
町田市森野 2-2-22
(町田市庁舎 3F)
☎ 042-724-2171
「無所属」会派室



歳入にかかわる納付別費用コストの相違

町田市の税収に関して、その歳入にかかわる納付方法別の費用コストを尋ねました。総務委員会の審議での答弁(2023 年度分)を元にした資料を下記の表にまとめました。

市民税納付方法	2023 年度		
	件数	金額	単価(円)
窓口納付	23%	40%	*0
コンビニ納付	35%	16%	20
口座振替	31%	37%	2
クレジットカード	2%	1%	16
スマホアプリ	4%	2%	16
電子納付	5%	4%	**

納付方法の件数では、コンビニ送付が最大、次いで口座振替、次に窓口納付となっています。その金額では窓口納付が最大、次いで口座振替、次にコンビニとなっています。単価の説明では、窓口納付の費用は 0 円ですが、職員人件費が別途かかります。コンビニ納付は 20 円、口座引き落としは 2 円、クレジットカードとスマホアプリは 16 円となっており、電子納付(eLTAX)はいろんな方法があり、上の表ではまとめられない種類になります。この表から、行政機関にとっての徴税コストは、口座振替の方法が 1 件当たり 2 円で納付され、最も低コストと言えます。市民の方や市内企業において、市税の納入に関して口座振替の方法を選択していただくのが、最もコストが安い方法と言えます。ちなみに、東京都の水道局は、その水道料金の納入者に対して、口座振替手続きの利用者割引としているはがきの通知を出しています。なお、下水道は町田市が所管しており、その使用料金を口座振替の方式で納めていても、割引の方法は一切取られていません。

建築の美学：町田市工芸美術館に欠く視点

下瀬美術館は瀬戸内海のロケーションとマッチした建築物

「町田市立国際工芸美術館」が収蔵する工芸品は世界トップ級のレベルとは言えず、かつ、歴史を超えた価値を提供できる工芸品もほとんど見当たりません。さらに、町田市に由来する有名作家の作品も見られません。「鼻煙壺」と呼ばれる喫煙具のような、ごく一部の工芸愛好家が関心を示す作品群を有しているに過ぎず、芸術と呼ばれる作品に相応しい普遍性を備えているとは見なされないでしょう。

他方で、「町田市立国際工芸美術館」を建築物として見ると、2023 年に出来た広島県大竹市の下瀬美術館(100%民間による財団運営)のように、「アートの中でアートを観る」と称され、ユネスコのベルサイユ賞最優秀賞を受賞した施設に匹敵する価値を有するとも言えません。また、山形県酒田市の土門拳記念館のように、建設工事に合わせて多額の寄付が集まる見込みは全くありません。「町田市立国際工芸美術館」は、ただただ、建設費用を作り出すために多額な市税を費やすことになるに過ぎず、完成後も施設維持のために住民負担の税金が毎年投入されることは避けがたいものになるでしょう。



下瀬美術館は、瀬戸内海に面した臨海工業埋め立て地の遊休地を有効活用した民間施設として建設され、ヴィラやレストランも併設。

◎一般質問は、議員個人と行政のやり取りです。石阪市長の時代になって本人が答弁をせず、部長のみが答えるケースが増大しています。会議における行政の発言は、部長が答弁したからといって市長の責任がなくなったり、軽くなったりするものではありません。